

(6) 水利用

1) 河川の利用状況

関係3市の主要な河川は、牧港川、小湾川、安謝川、久茂地川、安里川及び国場川の6河川である。6河川における農業用水及び工業用水の取水口は、設置されていない（沖縄県主要水系調査書（沖縄本島中南部地域）（平成元年3月、沖縄県企画開発部 土地利用対策課））。

2) ダム及び溜池の利用状況

那覇市には、洪水調節を行うとともに、流水の正常な機能の維持を図る目的で金城ダムが設置されている。

3) 海域の利用状況

(ア) 港湾・漁港区域

関係3市の港湾及び漁港の状況は、表3.2.16、表3.2.17及び図3.2.7に示すとおりであり、港湾は那覇及び宜野湾が、漁港は宜野湾、泊、壺川及び牧港がある。

表 3.2.16 港湾の状況

港湾名	港格	港湾管理者	所在地	面積 (ha)	設立年月日
那覇	重要港湾	那覇港管理組合	那覇市 浦添市	3,400	昭和47年5月15日 (重要港湾指定)
宜野湾	地方港湾	沖縄県	宜野湾市	58.2	昭和59年3月9日

出典：「沖縄の港湾」（平成30年3月、沖縄県土木建築部港湾課）

注：重要港湾：国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点となる港湾、その他の国の利害に重大な関係を有する政令で定められた港湾。

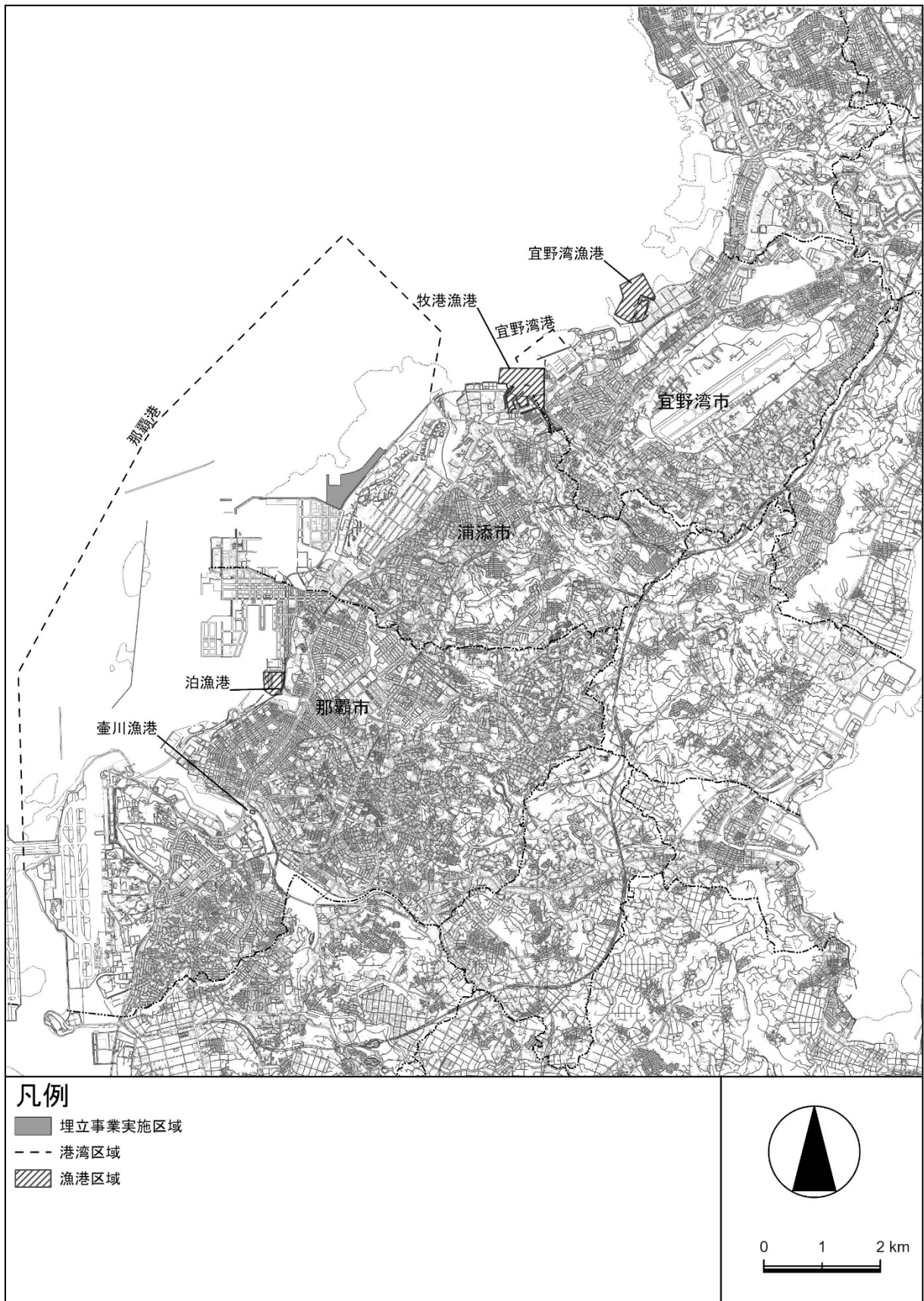
表 3.2.17 漁港の状況

漁港名	漁種	管理者	指定年月日
宜野湾	第一種	沖縄県	昭和63年3月31日
泊	第二種	沖縄県	昭和42年10月6日
壺川	第一種	那覇市	昭和47年5月12日
牧港	第一種	浦添市	昭和52年3月31日

出典：「県内漁港一覧」（令和2年4月1日現在、沖縄県農林水産部漁港漁場整備班）

注：第一種漁港：その利用範囲が地元の水産物を主とするもの。

第二種漁港：その利用の範囲が第一種漁港よりは広いが全国的な利用ではないもの。



出典：「沖縄県地図情報システム 土地利用規制現況図（令和4年度）」（沖縄県企画部情報基盤整備課）

図 3.2.7 港湾及び漁港位置図

(イ) 漁業権設定区域

関係3市の漁業権は、図 3.2.8 に示すとおり、共同第15号漁業権及び特定区画漁業権が設定されており、漁業権の免許内容は、表 3.2.18 及び表 3.2.19 に示すとおりである。

表 3.2.18 漁業権の免許内容（共同漁業権）

漁場番号	漁業権者	漁業種類	漁業の名称	漁場の位置
共同 第15号	代表者： 浦添宜野湾漁業協同組合 共有権者： 那覇地区漁業協同組合 共有権者： 那覇市沿岸漁業協同組合	第1種 共同漁業	ウニ漁業、イセエビ漁業、セミエビ漁業、ゾウリエビ漁業、ナマコ漁業、タコ漁業、シャコガイ漁業、ヒロセガイ漁業、タカセガイ漁業、ヤコウガイ漁業、マガキガイ漁業、サザエ漁業、	宜野湾市と北谷町との境界線から那覇市と豊見城市との境界線により囲まれた沿岸水域
		第2種 共同漁業	固定式刺網漁業、かご網漁業	

出典：「漁業権について（漁業権の説明及び免許の状況）」（令和5年9月、沖縄県農林水産部水産課）

注：免許期間：10年（令和5年9月1日から令和15年8月31日まで）

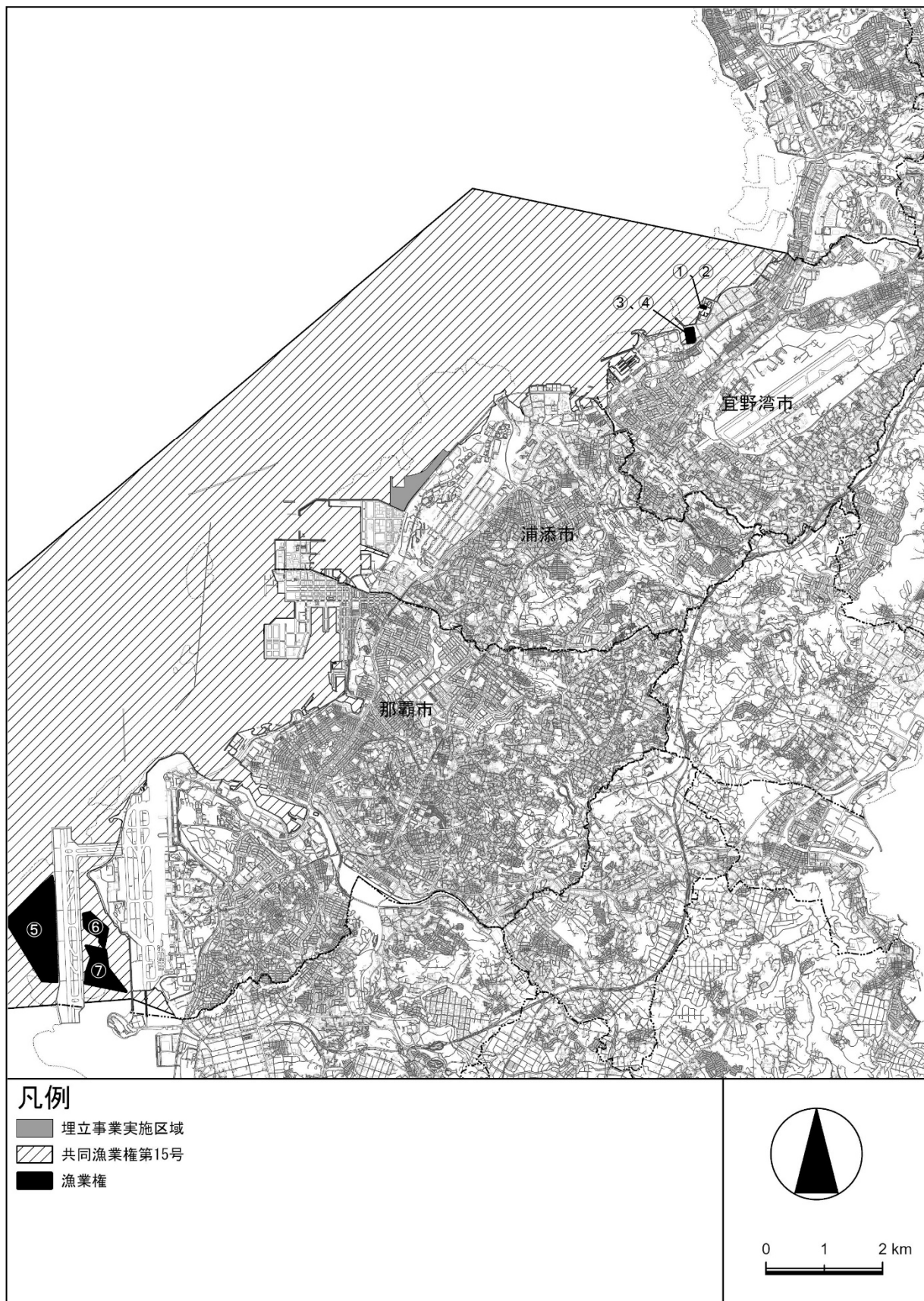
表 3.2.19 漁業権の免許内容（特定区画漁業権）

番号	漁場番号	漁業種類	漁業の名称	漁業の位置
①	特区 229 号	第1種特定区画漁業	魚類小割式養殖業（クロマグロを除く）	宜野湾市大山（宜野湾漁港防波堤内）
②	特区 230 号	第1種特定区画漁業	ウニ小割式養殖業	宜野湾市大山地先（宜野湾漁港防波堤内）
③	特区 231 号	第1種特定区画漁業	魚類小割式養殖業（クロマグロを除く）	宜野湾市大山（避難港内）
④	特区 232 号	第1種特定区画漁業	ウニ小割式養殖業	宜野湾市大山地先（避難港内）
⑤	特区 233 号	第1種特定区画漁業	モズクひび建て式養殖業	那覇市大嶺地先（那覇空港第2滑走路西）
⑥	特区 234 号	第1種特定区画漁業	ヒトエグサひび建て式春植業	那覇市大嶺地先（那覇空港第2滑走路東の内海）
⑦	特区 235 号	第1種特定区画漁業	モズクひび建て式養殖業	那覇市大嶺地先（那覇空港第2滑走路東の内海）

出典：「漁業権について（漁業権の説明及び免許の状況）」（令和5年9月、沖縄県農林水産部水産課）

注1：免許期間：5年（令和5年9月1日から令和10年8月31日まで）

注2：表中の番号は図 3.2.8の番号に対応している。



出典：「沖縄海区漁場計画区画漁業権（5年免許）通称「特定区画」」（令和5年4月28日、沖縄県）

注：図中の番号は、表 3.2.19 に対応している。

図 3.2.8 漁業権漁場図

4) 地下水の利用状況

関係3市の井戸及び湧水の状況は、表3.2.20及び図3.2.9に示すとおりであり、井戸は農業用及び工業用としてそれぞれ計14箇所分布しており、湧水は計48箇所分布している。

表 3.2.20 井戸及び湧水の状況

単位：箇所

地区	農業用井戸	水道用井戸	工業用井戸	その他用井戸	湧水
浦添市	11	0	5	0	4
那覇市	1	0	9	0	34
宜野湾市	2	0	0	0	10

出典：「沖縄本島中南部地域利水現況図」（平成元年3月、沖縄県）

(7) 交通

1) 陸上交通の状況

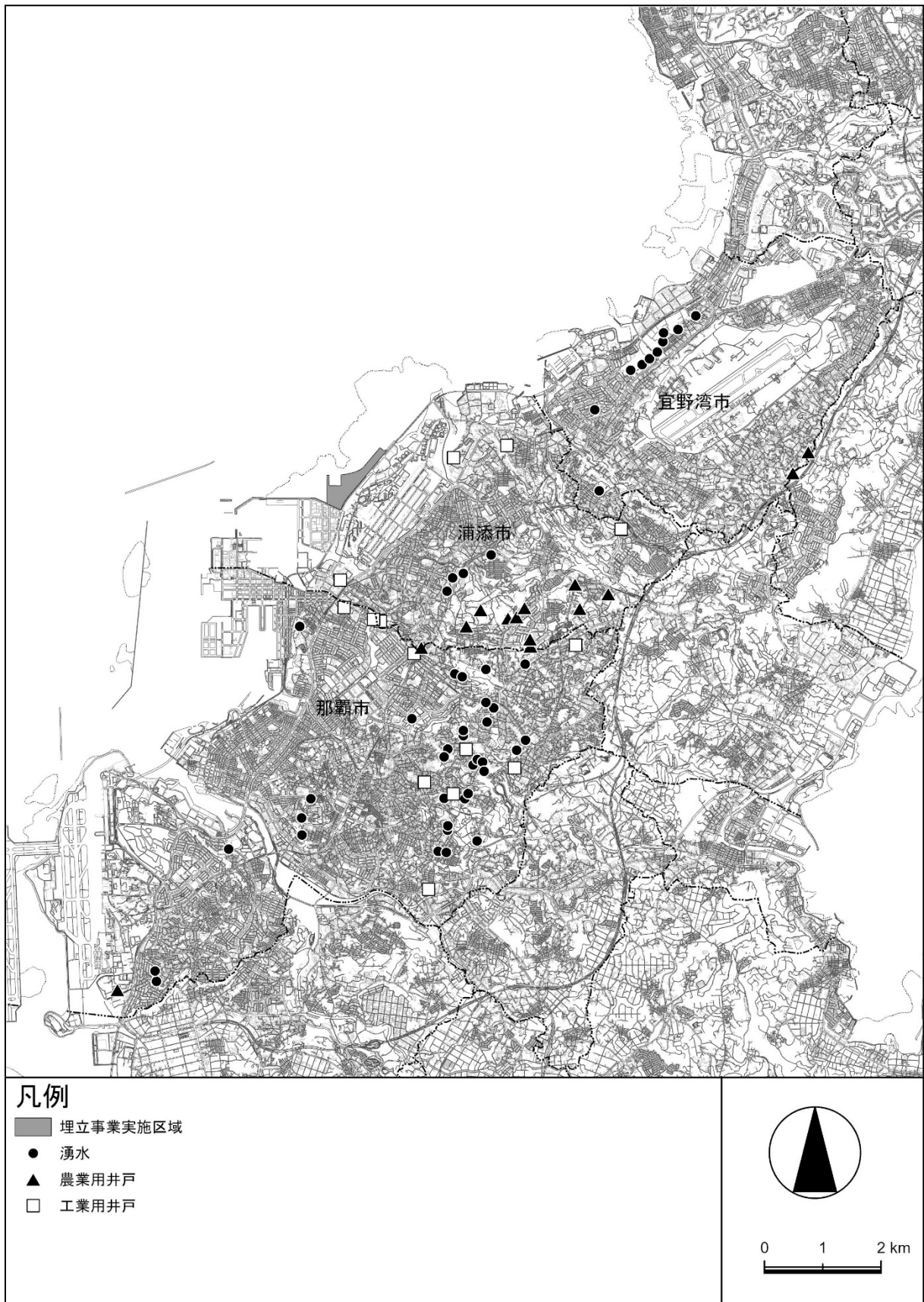
(ア) 道路の整備状況

関係3市の道路の整備状況は、国道58号が北東から南西に伸び、これらを基軸に主要地方道及び一般県道が接続し、幹線道路網を形成している。

(イ) 交通量の状況

関係3市の道路の交通量の状況は、表3.2.21に示すとおりである。

国道330号の浦添市仲間における交通量が最も多く、約70,296台/24時間となっている。



出典：「沖縄本島中南部地域利水現況図」（平成元年 3 月、沖縄県）

注：湧水については、同一敷地にも存在するため表 3.2.20 の数と一致しない。

図 3.2.9 井戸及び湧水の分布状況

表 3.2.21 24 時間交通量

路線名	交通量観測地点名	24 時間自動車類 交通量 (上下合計) (台)	路線名	交通量観測地点名	24 時間自動車類 交通量 (上下合計) (台)	
沖縄自動車道	那覇～西原 JCT	11,400	浦添西原線	—	16,015	
	西原 JCT～西原	48,027		—	5,198	
	西原～北中城	54,529		西原町翁長	13,963	
一般国道 58 号	宜野湾市大謝名	57,465	浦添西原線バイパス	—	—	
	浦添市城間	57,324	宜野湾北中城線	宜野湾市喜友名	31,085	
	浦添市屋富祖	51,571	那覇糸満線	那覇市銘苅	31,509	
	那覇市天久	64,508		那覇市古島	30,649	
	那覇市旭町	53,639		那覇市首里赤平町	34,824	
那覇市首里崎山町	—	那覇市首里崎山町	39,794			
一般国道 58 号 (宜野湾バイパス)	宜野湾市大山	50,810	県道 28 号線	那覇市首里儀保町	8,301	
一般国道 58 号 (那覇西道路)	那覇市鏡水	26,496	県道 32 号線	—	13,395	
一般国道 58 号 (浦添北道路)	浦添市港川	31,425	宜野湾西原線	宜野湾市大謝名	27,353	
一般国道 329 号	南風原町兼城	30,140	宜野湾西原線	宜野湾市真栄原	20,387	
	那覇市上間	25,815		宜野湾市我如古	16,204	
	那覇市鏡原町	29,476		—	12,083	
一般国道 329 号 (南風原バイパス)	那覇市真地	16,074	県道 35 号線	宜野湾市野嵩	6,866	
一般国道 330 号	宜野湾市普天間	46,691	県道 39 号線	那覇市安里	9,723	
	宜野湾市我如古	34,386	県道 42 号線	那覇市泉崎	15,155	
	宜野湾市我如古	33,161		那覇市久茂地	17,562	
	浦添市仲間	70,296		那覇市若狭	11,066	
	浦添市沢岨	63,611	県道 46 号線	那覇市寄宮	17,489	
	那覇市真嘉比	42,864		那覇市寄宮	21,096	
	那覇市寄宮	33,049	県道 47 号線	那覇市久米	5,562	
	那覇市与儀	31,685	県道 49 号線	那覇市首里真和志町	4,199	
	那覇市壺川	18,622	県道 50 号線	那覇市首里金城町	2,506	
那覇市奥武山町	52,856	県道 62 号線	那覇市宇栄原	10,621		
一般国道 331 号	那覇市安次嶺	28,200	県道 153 号線	那覇市首里大名町	11,548	
	豊見城市瀬長	46,740	県道 153 号線	浦添市牧港	32,949	
	那覇市鏡水	15,351		—	—	
一般国道 332 号	那覇市鏡水	10,095	県道 155 号線	那覇市首里石嶺町	7,528	
	那覇市東町	11,464	那覇内環状線	那覇市金城	18,693	
一般国道 390 号	那覇市上間	那覇市国場	25,458	那覇内環状線	那覇市鏡原町	30,997
		那覇市仲井真	18,327		那覇市楚辺	6,936
		那覇市山下町	20,083		那覇市楚辺	14,350
奥武山米須線	那覇市小祿	22,677	真地泉崎線	那覇市真地	24,483	
	豊見城市豊見城	17,120	真地泉崎線	那覇市寄宮	15,671	
	豊見城市豊見城	11,821	那覇市樋川	8,535		
那覇北中城線	那覇市安里	16,879	那覇市真地	9,703		
	那覇市安里	23,665	那覇市泉崎	10,578		
	那覇市松川	18,946	那覇市安次嶺	22,635		
	那覇市首里山川町	11,761	那覇市高良	11,771		
	那覇市首里池端町	11,627	宜野湾南風原線	浦添市西原	20,561	
	那覇市首里汀良町	22,361		—	23,687	
	那覇市首里石嶺町	15,677		—	23,687	
	中城村新垣	19,492	那覇市首里石嶺町	14,886		
	浦添西原線	浦添市城間	9,660	那覇市銘苅	15,424	
浦添市屋富祖		8,480	浦添市内間	12,692		
浦添市安波茶		20,174	浦添市伊祖	16,005		
—		20,608	浦添市牧港	11,915		

出典：「令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 集計表」(国土交通省道路局)

注1：交通量を観測していない区間については、推定した昼間12時間交通量と昼夜率及び夜間12時間大型車混入率を用いて推定した24時間交通量を記載。推定値を斜体表示とした。

2：空白（データなし）の箇所は、「—」で表示した。

(ウ) 自動車保有台数

関係3市の車種別保有自動車数の状況は、表 3.2.22 に示すとおりである。

保有車両は浦添市が 87,326 台、那覇市が 175,417 台、宜野湾市が 72,183 台で、車種別ではいずれも乗用車が最も多くなっている。

表 3.2.22 車種別保有自動車数

単位：台

地区	保有車両 (計)	登録車両				小型 二輪車	軽自動車
		貨物用	乗合用	乗用	特殊用途用		
浦添市	87,326	6,970	98	30,985	1,860	1,646	45,767
那覇市	175,417	7,932	449	77,271	2,037	4,201	83,527
宜野湾市	72,183	3,589	84	26,305	827	1,536	39,842

出典：「第 65 回沖縄県統計年鑑 令和 4 年版」(令和 5 年 3 月、沖縄県企画部統計課)

注：令和4年3月31日現在。

2) 海上交通の状況

那覇港における海上交通の利用状況は表 3.2.23 に、航路の状況は図 3.2.10 に示すとおりである。那覇ふ頭、泊ふ頭及び新港ふ頭からは、県内の離島や九州・本州への海上航路が設定されている。

表 3.2.23 那覇港の利用状況

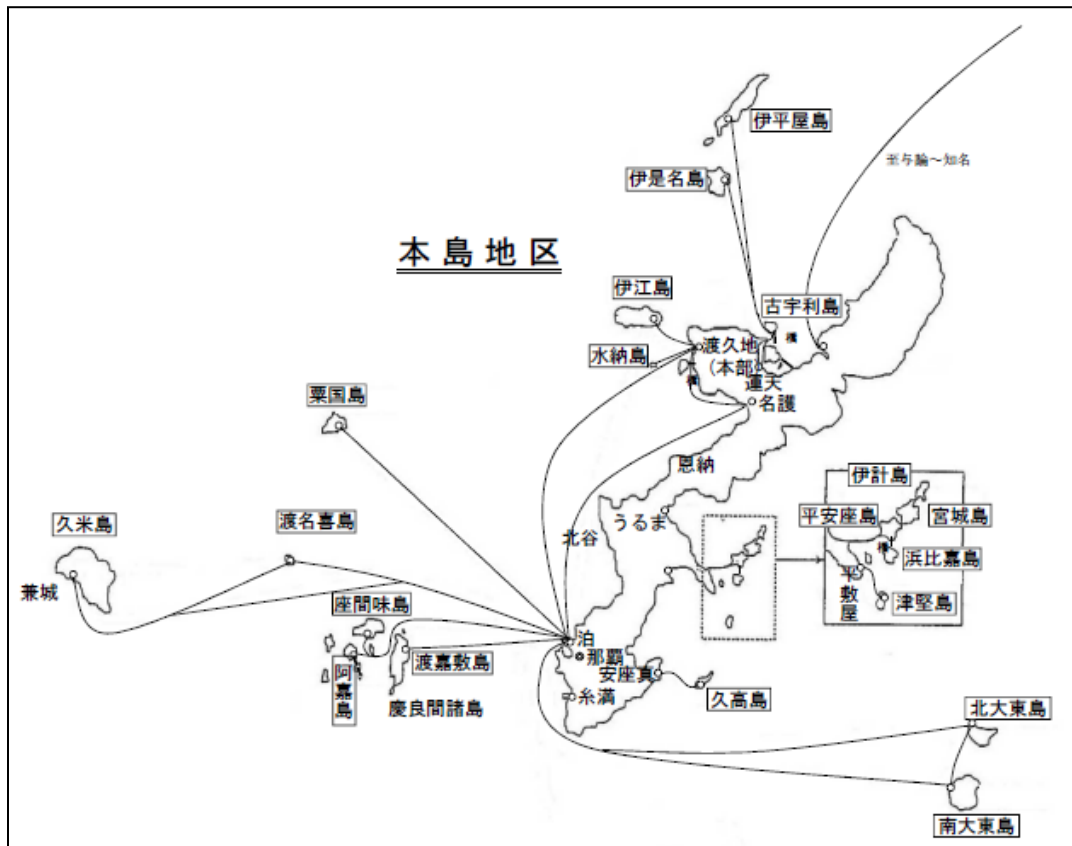
入港船舶	総計		外航		内航	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
	7,912	24,516,560	516	7,319,984	7,396	17,196,576

貨物量 (トン)	総計	外国貿易	内国貿易
	16,410,474	1,290,216	1,290,216

船舶乗降 人員 (人)	航路別	総計	外国航路	内国航路	
				県外	県内
	乗込人員	161,191	0	13,344	147,847
上陸人員	159,336	0	12,598	146,738	
計	320,527	0	25,942	294,585	

出典：「那覇港の統計 令和 3 年 (2021 年)」(令和 4 年 12 月 那覇港管理組合)

注：調査期間は令和 3 年 1 月 1 日～令和 3 年 12 月 31 日までの 1 年間



出典：「運輸要覧」（令和4年12月、沖縄総合事務局運輸部）

図 3.2.10 海上航路の状況

(8) 環境整備

1) 上水道整備状況

関係3市における上水道の整備は、表3.2.24に示すとおりで、普及率は100%となっている。

表 3.2.24 上水道整備及び普及状況

地区	行政区域内 総人口 (A)	水道事業施設箇所			給水人口 (B)			普及率 (%) =B/A×100
		計	上水道	簡易水道	計	上水道	簡易水道	
浦添市	115,617	1	1	—	115,617	115,617	—	100
那覇市	314,889	1	1	—	314,889	314,889	—	100
宜野湾市	98,814	1	1	—	98,814	98,814	—	100

出典：「第65回沖縄県統計年鑑 令和4年版」(令和5年3月、沖縄県企画部統計課)

注1：令和2年度実績

2：行政区域内総人口は外国人人口を含む。

2) 下水道整備状況

関係3市の公共下水道は、中部流域下水道として整備が進められており、その整備状況は表3.2.25、範囲は図3.2.11に示すとおりである。

関係3市における計画面積に対する下水道の整備率は、浦添市で74.2%、那覇市で89.4%、宜野湾市で91.6%であり、整備面積内の水洗化率は、それぞれ95.0%、96.6%、84.5%となっている。

表 3.2.25 下水道整備及び普及状況

地区	行政人口 (人)	利用可能人口 (人)	人口普及率 (%)	接続人口 (人)	水洗化率 (%)	全体計画面積 (ha)	供用開始済み面積 (ha)	計画面積整備率 (%)
浦添市	115,112	111,800	97.1	106,188	95.0	2,147.1	1,593.7	74.2
那覇市	371,191	311,725	98.3	301,241	96.6	3,936.7	3,519.2	89.4
宜野湾市	99,902	95,843	95.9	80,988	84.5	1,972.3	1,806.8	91.6

出典：「下水道のあらまし」(令和4年度、沖縄県下水道課)

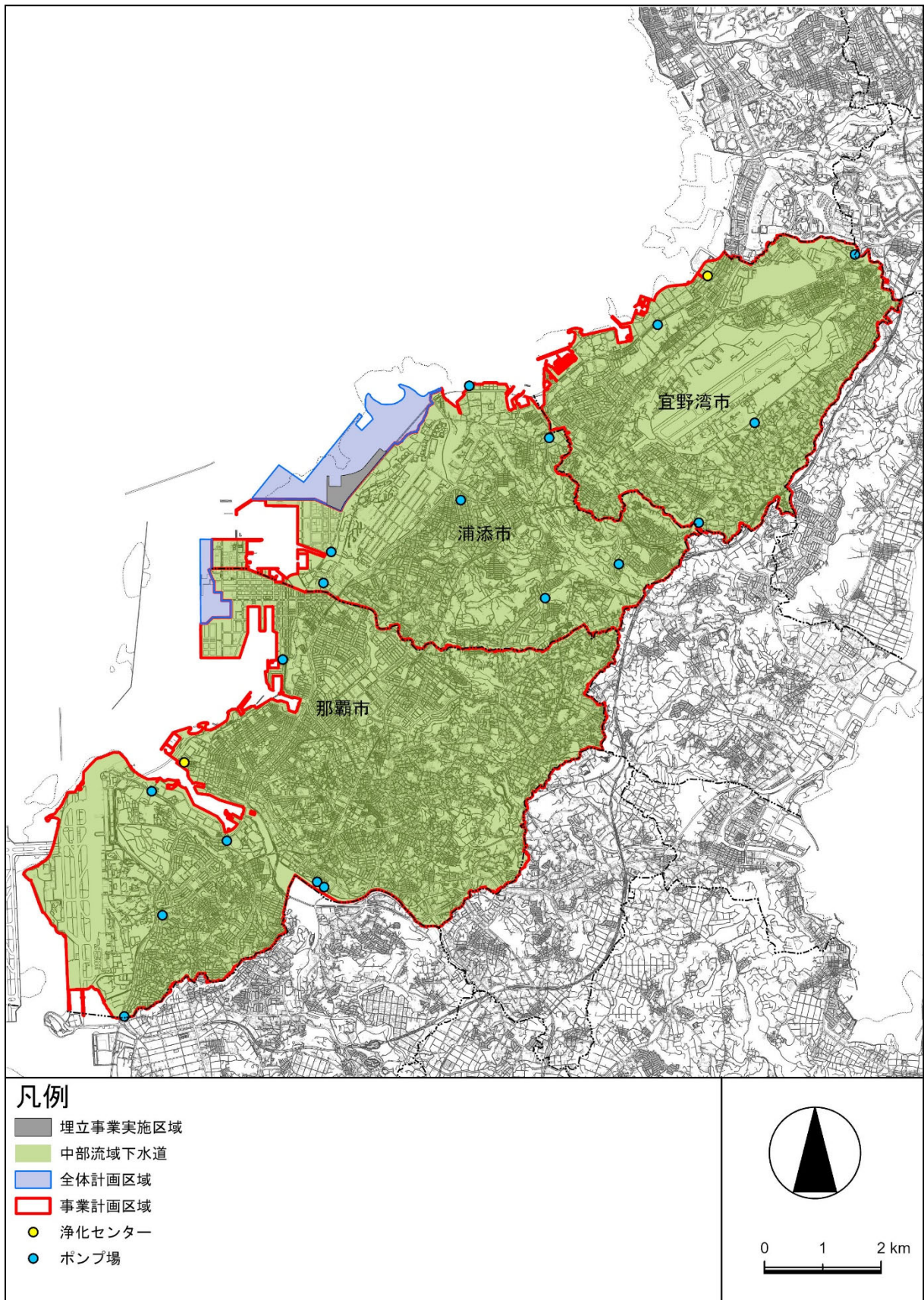
注1：令和4年3月末現在

2：行政人口は令和4年3月31日現在の住民基本台帳による。(外国人登録を含む)

3：人口普及率は、利用可能人口／行政人口

4：接続率は、接続人口／利用可能人口

5：人口整備率は、利用可能人口／全体計画区域内現在人口



出典：「中部流域下水道（那覇処理区）（伊佐浜処理区）」（那覇市ホームページ、2022年10月27日更新）

図 3.2.11 下水道整備状況

3) 廃棄物

関係3市の一般廃棄物処理施設の整備状況は、表3.2.26～表3.2.28に、処理状況は表3.2.29に示すとおりである。

表 3.2.26 一般廃棄物焼却施設の整備状況

実施主体	所在地	構成市町村	規模 (t/日)	炉の状態	処理方式
浦添市	浦添市伊奈武瀬 1-8-1	浦添市	150	75 t/24h×2基	全連続 +灰溶融
那覇市・南風原町 環境施設組合	南風原町字新川 650	那覇市、南風原町	450	150 t/24h×3基	全連続 +灰溶融
倉浜衛生施設組合	沖縄市字池原 3394 番地	沖縄市、宜野湾市、 北谷町	309	103 t /24 h ×3 炉	ガス化 溶融

出典：「廃棄物対策の概要（令和5年3月版）」（令和5年4月、沖縄県環境部環境整備課）

注：令和4年3月末現在

表 3.2.27 し尿処理施設の整備状況

実施主体	構成市町村	規模 (kL/日)	処理方式
倉浜衛生施設組合	沖縄市、宜野湾市、北谷町	130	二段活

出典：「廃棄物対策の概要（令和5年3月版）」（令和5年4月、沖縄県環境部環境整備課）

注：令和4年3月末現在

表 3.2.28 一般廃棄物最終処分場の整備状況

実施主体	構成市町村	埋立 開始 年月	終了 予定 年月	埋立 面積 (m ²)	埋立 容量 (m ³)	令和2年度末	
						残余 容量 (m ³)	残余 年数 (年)
那覇市・南風原町 環境施設組合	那覇市、南風原町	H19.4	R14.3	13,000	107,000	53,357	14.4
倉浜衛生施設組合	沖縄市、宜野湾市、 北谷町	H9.2	H31.3	38,000	400,000	197,729	30.5

出典：「廃棄物対策の概要（令和5年3月版）」（令和5年4月、沖縄県環境部環境整備課）

注：令和4年3月末現在

表 3.2.29 一般廃棄物処理の状況(令和2年度実績)

単位：t

地区名	焼却処理量			最終処分量			
	直接 焼却量	焼却施設 以外の 中間処理施設 からの搬入量	合計	直接最終 処分量	焼却残渣量	焼却施設 以外の 中間処理施設 からの残渣量	合計
浦添市	29,536	1,644	31,180	0	0	0	0
那覇市	81,928	3,992	85,920	0	3,618	0	3,618
宜野湾市	22,987	507	23,494	0	2,110	365	2,475

出典：「廃棄物対策の概要（令和5年3月版）」（令和5年4月、沖縄県環境部環境整備課）